

# わいわい 通信



インフルエンザが猛威を奮っています。いつしか不精にしていた帰宅後の手洗い・うがいも習慣となりました。5月に県内初の感染が報じられたときには、集団パニックの様相でしたが、比較的冷静に受け止められていると感じます。

”わいわい”のお年寄りやホームの住人さんたちは、支援スタッフの心配りにより、幸い難を免れています。

皆さんのご健勝をお祈りします。

## お品書き

- グループホーム
- あったかほーむ
- 余暇利用
- 環境保全

## あんしん なっとく じゅうじつ の生活



吉姫神社大例祭に参加



2009夏まつり～聖泉大学吹奏楽部演奏

### NPOの活動報告

月1回 ホームサポート会議、あったか企画会議、わいわい運営会議

- 4月11日 余暇ワイワイ(第104回・花緑公園・お祭り)
- 4月19日 わいわい運営推進会議(偶数月開催)
- 4月25日 理事会(20年度事業報告・決算など)
- 5月9日 余暇ワイワイ(第105回・お餅つき)
- 5月17日 総会(じゅらくの里福祉センター)
- 6月6日 2009みんなおいでや祭り&コンサート(石部文化ホール)
- 6月14日 余暇ワイワイ(第106回・お祭り)
- 7月12日 余暇ワイワイ(第107回・お祭り)
- 8月7日 ホーム・事業所合同運営会議
- 8月8日 初任ハウス・サポート会議(バーベキュー)
- 9月6日 2009夏祭り(コミュニティセンター広場)
- 9月12日 日中活動支援の企画会議
- 10月10日 余暇ワイワイ(第109回)
- 10月17日 いしべ宿場まつり(ちびっこ籠かき)
- 10月18日 たこ焼き・芋煮会(南花)
- 10月24日 日中活動支援(食事づくり・手芸)
- 11月8日 ふれあい広場(近江学園)
- 11月14日 日中活動支援(南区集会所・お祭り・手芸)

**募集中** わいわい日中ボランティア。  
 時間：おまかせ。  
 月1回でもかまいません。  
 お話相手、散歩・買い物  
 などなど。



お問い合わせ NPO法人事務局(秋桜舎内) TEL 0748-77-6780 FAX 0748-77-6781

発行：特定非営利活動法人NPOワイワイあぼしクラブ

## “その人らしい死に方を支援する”

霧の合間から大きな朝日が顔を出した。2週間前に死んだ弟の笑顔が浮かんだ。2年7ヶ月に及ぶ闘病生活の末、唐津の緩和病棟で息を引き取った。享年58才と3ヶ月であった。

初七日も付き合えず仕事に戻った翌々日、今度は秋桜舎（こすもすや）ではるえさんを看取った。87才、息子さん夫婦、娘さん、お孫さんたちに見守られての旅立ちであった。

その弟の薫は、自ら2回目の抗ガン剤治療を止めて緩和ケアを選んだ。最後は痛み止めの薬で幻覚などの副作用に苦しんだものの、ドクターや看護師さんたちのおもいやり深いお世話のもと旅立って行った。

はるえさんは、本当は自分の家の自分の部屋で死んで行きたかったと思うが、でもほぼ30mしか離れていない秋桜舎の2階で息を引き取られた。家族の人たちの精一杯の介護、時間をいとわないドクターの往診、的確な訪問看護、それに近隣の人たちの励ましを受けながら、自宅に近い秋桜舎で死んで行かれた。

そのはるえさんの死から10日、今度はやはり秋桜舎ご利用であったツヨシさんが病院（一般病棟）のベッドの上で亡くなられた。ツヨシさんの1ヶ月前の入院は、腎臓病も肺の腫瘍も相当悪化していて、また娘さんを遠くに置いておかれたこともあってやむを得ないものであった。しかし結果としては、ツヨシさんの「この家で死にたい」という強い、はっきりとした意思を支援出来なかった。やむを得ないという状況であったとはいえ、ケアマネージャーの私としてはすっきりしない送り方であった。

これまでは「認知症や障碍になっても、その人らしく暮らし続ける」ことに力を注いできたが、これからはその連続としての、その人のおもいに沿った死に方をどう支援するのかにも意識を強めたい。（み）



### インフォメーション <日中活動支援を開始しました>

ホームで過ごす住人さんたちのなかで、これまでは、土日以外の日中、会社や作業新働きに出掛けていましたが、年齢を重ねたことにより、休む日が増えたり、会社の都合で勤日が減ったりする人が増えました。また、移動が早い活動的な余暇メニューに参加している人もいます。これらのことから、ホームの世話人さん方で話し合い、食事作りや手芸を楽しむ「わたのみ会」という日中活動支援を9月から始めました。

まだ、試行錯誤ですが、新しい“お楽しみ”となることを期待しています。

## 新・夜間支援のスタートによせて

予てからの懸案事項であった、ホームの夜間支援をスタートさせました。

今回の夜間支援体制は、従来の宿直ボランティアを残しつつ更に勤務としての宿直者を配置することにより、従来の体制では弱かった就寝前と出勤前の支援を強化しています。

従来の宿直ボランティアとの違いは、勤務として宿直に入りますので、「入り」と「終了」の時間を固定し、毎日、そのホームに必要な支援を確実にできる点にあります。

これまで出来ていたことが、加齢と共に自分一人では出来なくなり、就労面で課題が出たり、自分自身の健康にも影響を及ぼす事も考えられます。

その支援においては、住人さんが行動を監視されていると感じ、うっとうしく思われないような配慮が必要です。どこまで干渉していったらいいのか、現状は、手探り状態ですが、少しずつでも住人さんと意思疎通を図り、よりよい支援をめざしてゆきたいと思っています。

その先に、住人さんがこのホームで生活する事に満足感と充実感を覚えてもらえれば良いのかなと思います。

スタートしたばかりの夜間勤務体制です。皆様のご支援やご意見をお願いします。

事務局 石路

水口町にある「あすばる甲賀」の引田さんからのメッセージです。

## 石部から吹いてくる心地よい風に包まれて

あすばる甲賀（社団法人 甲賀・湖南人権センター）は地域の沢山の方々に支えられ、今年で10周年を迎えることが出来ました。私たちはすべての人が尊重され、人権が守られる社会の実現のため、人と人とがつながることを大切にしています。

ワイワイあぼしクラブの皆さんとは、今年「2009みんなおいでや祭り&コンサート」と夏祭りで一緒にさせて頂きました。障害のある人たちが主体的に運営に携わっておられる姿と、それをさり気なくサポートされるスタッフの皆さんや地域の人たちの姿に、何とも言えない居心地のよさを感じました。それは、ありのままの自分でいい、人に対して気構えなくていいことへの安心感だったように思います。



人と人とが「かかわり・つながる」ことの積み重ねによって、プラスに「ひびきあう」地域になるのだということを、ワイワイあぼしクラブの皆さんの地道な取り組みを通じて実感しています。そしてそれこそが人権と福祉のまちづくりに他ならないと思います。

どうぞこれからもよろしくお願いします。

あすばる甲賀 引田 幸男



## グループホームわいわい ~ほっこり・にっこり~

1年というのはあっという間ですね……前号でこのコラムを書いてから、早一年。今年も恒例の一泊旅行に行きました。



出発の日近くまで体調の優れないお年寄りもおられ、全員参加が難しいと思われましたが、体調も安定され、お年寄り一人ひとりの“行きたい”という想いを尊重することができ、全員で行くことが出来ました。

今年お世話になったのは大津・におの浜にある「ホテルピアザびわ湖」です。

ホテルの部屋からは琵琶湖を一望でき、お年寄りもその景色を楽しんでおられました。

到着後少しリラックスしていただけたところで、温泉で日ごろの疲れを癒していただくことに。ゆったりと湯舟で温まったあとは、気持ちよさそうにお昼寝をされた方や、湖岸の涼風に触れながらお散歩をされた方…それぞれがこの時間を楽しんでおられました。

温泉のあとの宴会ではお酒も入り、「美味しいね」と会席料理にも箸が進みます。いつもと違った雰囲気と美味しい料理に、自然と笑顔がこぼれていました。みなさんととても喜んでおられました。

みなさんの笑顔を見ると、全員で思い出を作ることができて本当に良かったと思います。

「来年も全員参加でできたらいいなー」



(旅行担当 小谷&西尾 ☺)

[NPOワイワイあぼしクラブ 関連事業所の住所・連絡先]

●**あったかほーむ いしべ宿（しゅく）**

〒520-3107 湖南省石部東七丁目5番9号

TEL/FAX 0748-77-6723

E-mail: npowai@ex.biwa.ne.jp



●**高齢者グループホーム わいわい**

〒520-3107 湖南省石部東七丁目5番25号

TEL/FAX 0748-77-5741

E-mail: waiwai@ex.biwa.ne.jp



●**知的障がい者グループホーム・ケアホーム すずらんホーム**

〒520-3108 湖南省石部南七丁目9番20号

TEL/FAX 0748-77-4274

E-mail: suzuran@w-aboshi.com



●**知的障がい者グループホーム・ケアホーム さん・れいく**

〒520-3108 湖南省石部南四丁目9番5-1号

TEL/FAX 0748-77-0630

E-mail: white@w-aboshi.com



●**知的障がい者グループホーム・ケアホーム ホワイトハウス**

〒520-3108 湖南省石部南六丁目9番29号

TEL/FAX 0748-77-3130

E-mail: pskm67097@ares.eonet.ne.jp



●**知的障がい者グループホーム・ケアホーム 南花（さざんか）**

〒520-3108 湖南省石部南五丁目4番4号

TEL/FAX 0748-77-4791

E-mail: attacka@w-aboshi.com



●**知的障がい者グループホーム・ケアホーム 栗東ハイツ**

〒520-3015 栗東市林480番地

栗東ハイツA棟101号

TEL/FAX 077-553-0975



●**知的障がい者グループホーム・ケアホーム Myほーむ**

〒520-3108 湖南省石部南七丁目1番9号

TEL/FAX 0748-60-1157

E-mail: vpkv25205@ares.eonet.ne.jp



●**サポートセンター・本部事務局（秋桜舎の一時借用）**

〒520-3107 湖南省石部東一丁目9番26号

TEL 0748-77-6780 FAX 77-6781

E-mail: info@w-aboshi.com



高齢者グループホームわいわいの安全対策の一環として、二階からの屋外出入り階段をスロープ化する改修を検討しています。市の福祉・建設の部署や消防署とも協議しながら、火災や地震時の被害を最小限に食い止めるため、避難路の確保に万全を尽くしたいと思います。（せ）

〈編集後記〉

高齢者グループホームわいわいでは介護支援専門員（ケアマネジャー）を募集しています。ホームページ内「スタッフ募集」から詳細をご覧くださいませ。

【ホームページ】<http://w-aboshi.com/> (みつい♪)

〈お願い〉

会員の皆さまへ。ひき続き、新規加入者（正会員・賛助会員）のご紹介および、今年度の会費の納入をよろしくお願いいたします。